

平成 30 年 8 月 1 日（水）

平成 30 年度 第 1 回 名桜大学高大接続勉強会報告書

第 1 回勉強会テーマ 「名桜大学の初年次教育からみる教育改革の方向性」

去る 7 月 25 日（水）に名桜大学 SAKURAUM 5 階研修室 B にて、第 1 回高大接続勉強会を開催しました。北部地区の高等学校から 6 名、名桜大学から 7 名の教職員が参加しました。勉強会の目的は、2020 年度の大学入試改革を控え、高校と大学の相互理解に基づく情報収集及び情報共有を具体的に進め、高大接続の実質化に向けた一体的な教育改革を図ることです。

始めに、本学の初年次教育の中核科目である「教養演習 I」の授業（ポスター発表）を見学してもらい、高校の先生方から率直な感想や意見をいただきました。その後、本学の初年次教育改革に携わってこられた木村堅一教授に、大学が目指す教育改革の方向性について紹介いただきました。引き続き、高大接続とは何か、高大接続の現状や課題等について意見交換を行いました。「高大接続って何をしたらいいの？」という戸惑いの声がありました。それは、送り出す高校側と入学を許可した大学側が同じ目標に向かって、将来を担う生徒・学生をどのように育てていけばこれからの社会で逞しく生きる力を育むことができるかを模索し、双方の教育カリキュラム改善に繋げるための連携を図ることだという共通認識を持ちました。

最後に、今後の勉強会の進め方について意見交換を行いました。高等学校側からは、大学入試改革について具体的な話し合いが行われることを期待していた様子が窺えました。取り分け e-ポートフォリオに関する情報が欲しいという要望、疑問点等が出されました。大学側からは、本学の北部出身の学生の入学後から卒業までの学びの調査研究の紹介ができれば、高大接続の実質化の大きな一歩になるのではないかという提案も行われました。

第 2 回高大接続勉強会は、本学の入試改革の紹介と、双方の今後の具体的な連携についても意見交換を行う方向で開催することが確認され、閉会となりました。

ご多忙の中、本会にご参加・ご協力をいただきました、高等学校の先生方、本学の関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。今後ともご協力よろしくお願い申し上げます。

平成 30 年度 第 1 回
名桜大学高大接続勉強会

「名桜大学の初年次教育からみる
教育改革の方向性」



写真 1 スカイホールにおける発表会の様子



写真 2 ポスター発表の感想報告の様子



写真 3 教養演習の教材展示

文責 名桜大学学長補佐 高安美智子